

官民連携まちづくりワークショップ(前半)

2025年12月8日



1.目的・中間支援の役割・進め方の共有(15分)

2.自己紹介(15分)

3.ワークショップ①(40分)

「官民連携まちづくり基本方針策定の要素抽出・論点整理」

4.ワークショップ②(40分)

「エリアプラットフォームの運営方法検討」

5.総括・アンケート(10分)

- ・春日部駅周辺を中心とした官民連携まちづくりの**目指す姿（春日部の未来像）**の意見収集
- ・春日部駅周辺に関する**現状課題と強み・ポテンシャル**の意見収集
- ・取り組みを推進する上で**必要な情報や機能**の整理
- ・エリアプラットフォームの**運営方針（役割や進め方）**の整理



基本方針策定に向けての
要素抽出/論点整理
(方向性・重点領域・運営方法など)

次回ワークショップ(後半)の
企画設計へ反映

【目的】

鉄道の高架化を契機に、中心市街地のプレイヤーが連携したまちづくりを推進し、市内観光拠点とのネットワーク強化から経済効果が中心市街地と観光地の相互に波及することを目指す。

【概要】

まちづくりの実践の場としてエリアプラットフォームを構築し、プレイヤー共通の方向性を持つ未来ビジョンを作成し、観光地と中心市街地のネットワーク化を進める取組の実践につなげる。

【課題】

有カコンテンツによるインバウンド
需要の増加

観光地が中心市街地から離れており、
一つの観光地で消費が完結

経済波及効果が十分でない!

1 エリアプラットフォームの構築(R7)

まちづくりの場



2 未来ビジョンの作成(R8)

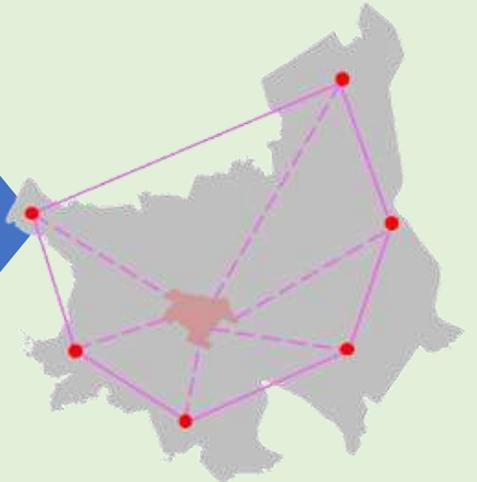
共通の目標



観光地と中心市街地のネットワーク化
エリアプラットフォームが
観光地の“ハブ”となる!

- 観光地での消費が中心市街地に波及
- 中心市街地来訪者を観光地へ誘導

持続可能な
まちづくりに向けて
(R9~)



まちに関わる多様な人たちが**どんな未来を創りたいか**共に考え
持続可能なまちづくりに向けて、事実とデータに基づき合理的にアクションを計画して実行していくためのプロセス

今日の議論が
官民連携まちづくりの

起点



本日:WS前半

基本方針の
要素抽出/論点整理

26年1月:WS後半

基本方針策定



令和8年度

未来ビジョン策定/
社会実験の検討

(マーケティング調査分析・部会の
取り組み内容検討など)



令和9~10年度

社会実験の実践/検
証/改善
⇒持続可能なまちづ
くりの検討



みんなの“好き”をつむいで、
新しいカルチュアを創り出す。



空間価値

体験価値

マーケティング

にぎわい
×
事業性

空間価値×体験価値×マーケティングを組み合わせ
にぎわいのある場づくりを伴走支援

【生活者起点×にぎわいの場づくり】

- ・空間価値×体験価値×マーケティング
- ・新しいライフスタイル提案

【官民連携まちづくりの実践者】

- ・プレイスメイキング
- ・都市デザイン/エリアマネジメント



Culture Convenience Club Co., Ltd.

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社



Heart Beat Plan
有限会社ハートビートプラン

など



ニーズ/トレンドの可視化
ターゲット/ペルソナの設定
マーケティング戦略設計など

・解像度の高いデータ分析
・にぎわいの場づくり

実践に基づいた手法

官民連携まちづくりの豊富な実績
プランニング・戦略策定
エリアプラットフォーム組成など

経験や勘では無く、データを活用して合理的な根拠に基づいた
持続可能なまちづくりを伴走支援



人口減少や物価高騰などの社会課題に加え、
ライフスタイルの多様化や激動するトレンドに対応し、
持続可能な事業を生み出すには、マーケティングが不可欠



誰に・どんな価値を・どのように届けるか。
データを活用し、科学的根拠をもって設計することで、
説得力のある事業戦略立案と持続可能性を高めることができる

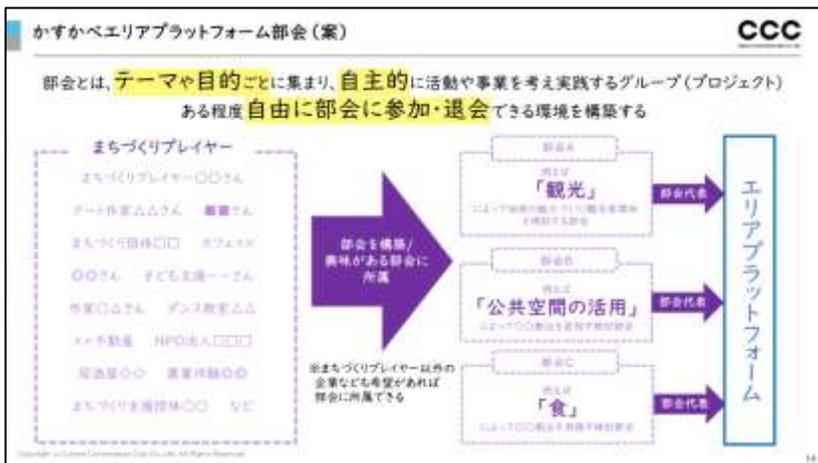
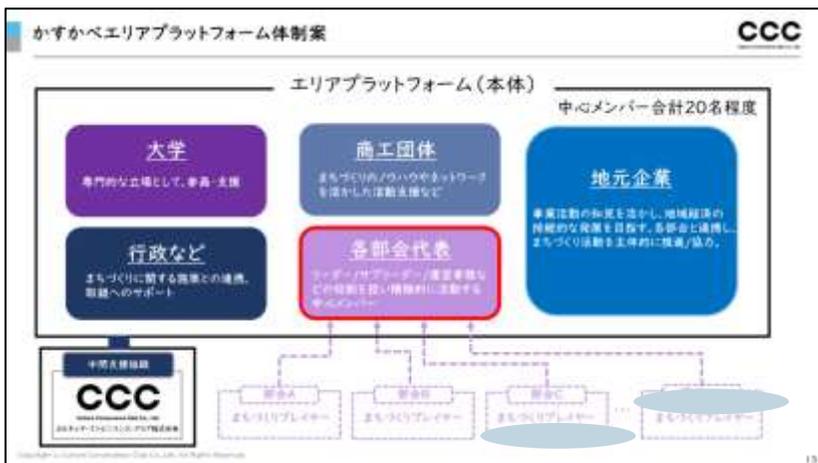


生活者の生活を豊かにし、人とお金が動く仕組みをつくることが、
持続可能なまちづくりを支える鍵

官民連携まちづくりにおけるデータ活用イメージと期待効果

ライフスタイル分析・アンケート/インタビュー調査などを掛け合わせターゲットのニーズやライフスタイルを可視化し、
解像度の高いデータ分析に基づいて**持続性の高いまちづくりの仮説立案**へ

持続可能な民間主導の官民連携まちづくり

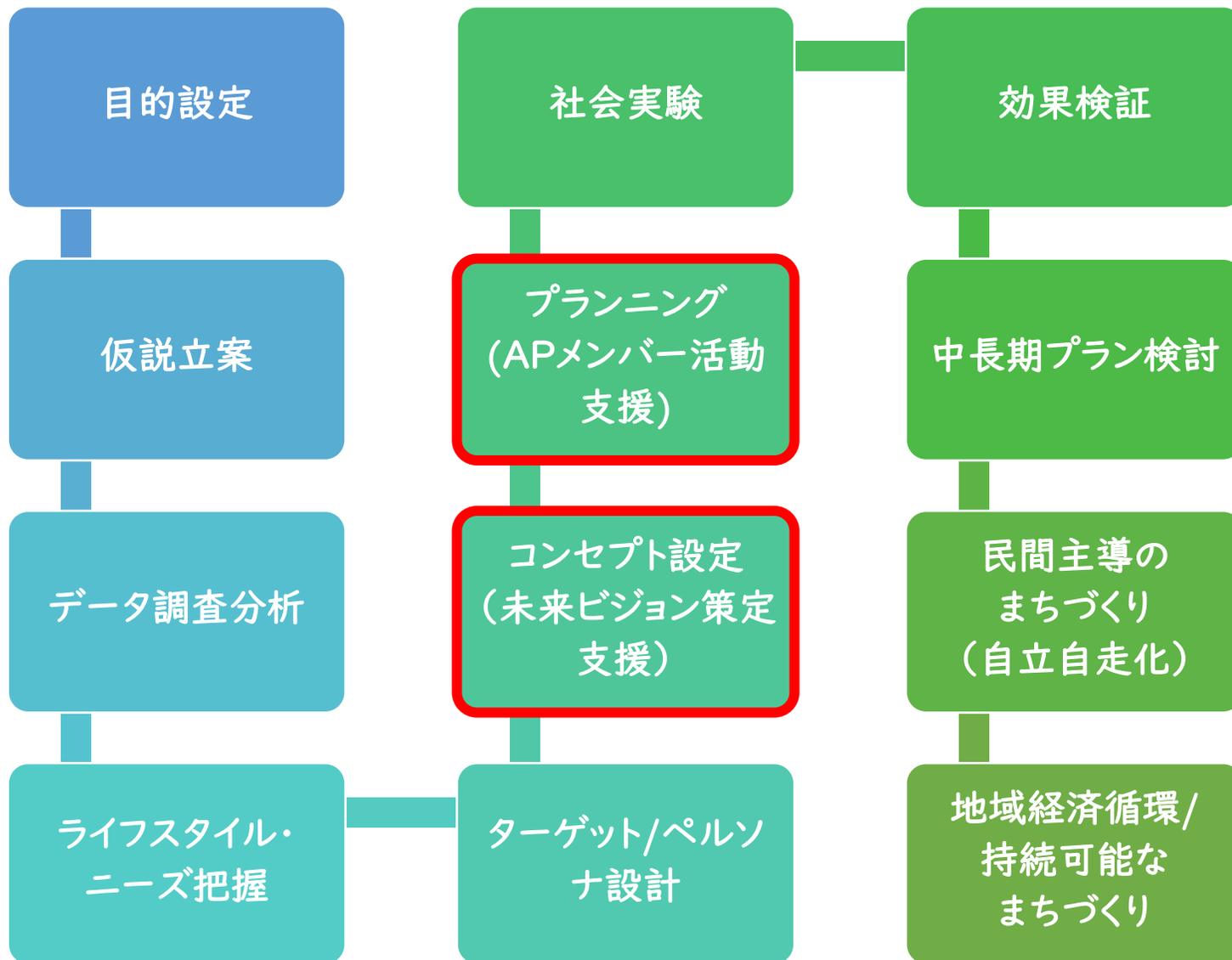


ターゲット一例

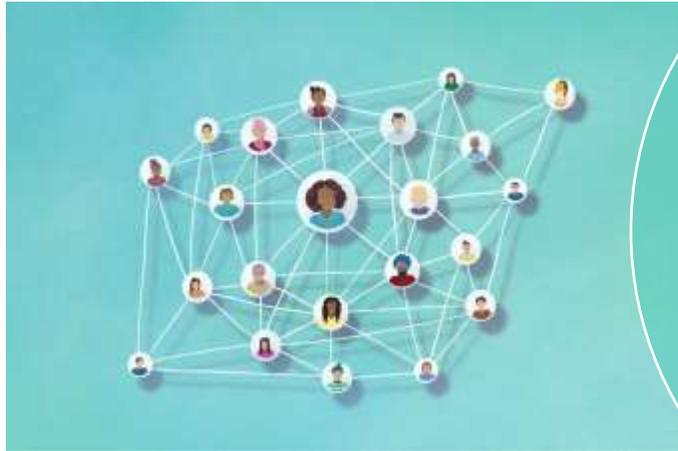


データ活用と効果





マーケティングの力で
地域経済循環を生み出し
持続可能なまちづくりへ



共創



異なる立場や業種の人・団体が協力して、新たな商品・サービスや価値観などをつくり出すこと
(コトバンク・デジタル大辞泉より)

まちに関わる多様な人たちと共に、未来への材料を持ち寄り
他者の視点と重ねて**持続可能なまちづくりの可能性を広げる**



- 1.他者を批判しない(他者の意見を受け取る)
- 2.自分の意見を大切に、積極的に発言する
- 3.未来志向で“育てる”姿勢を持つ

インプット

事前アンケート結果共有
⇒ 考えやすい土台づくり

ワークショップ

ディスカッション

- ① 基本方針策定の要素抽出・論点整理
- ② エリアプラットフォームの運営方法検討

アウトプット

- ① 自分の言葉でまとめる
 - ② みんなでまとめる
- ⇒ 発表・事後アンケート
⇒ 次回ワークショップにて、基本方針の具体化へ

今回のワークショップについて、期待していることや希望する点があれば教えてください

成果・アクション

何かが実現し、動き出すこと/最初の一步が見えること/実現可能なアイデアが生まれること

巻き込み・一体感

多くの人を巻き込み、一体となった動き/「春日部駅周辺を良くする」という意識の共有

質の高い議論

当たり障りのない話で終わらない/現状把握/他市との比較や方向性の明確化

運営・進め方

個々の特性ややる気に合わせた対応/事前課題の共有で効率的に進行/専門家の講義や現地視察の導入

情報共有・連携

上手い情報共有の方法を見つける/ざっくばらんな意見交換

多様な視点

地域内外の様々な立場の人の話を聞けること/個性理解/交流重視

具体的な効果

お店の売上向上/まちづくりの未来を想像できること

1	これによって、何かが実現すること、動くこと。
2	春日部にとって大事な時期ですので、多くの方を巻き込み、一体となった動きが出来ることを期待しています。
3	最初の一步だけでも見えるようになって欲しいです。私はやりたい事たくさんありますが、どこまで付き合ってもらえるのかも探りたいところです。
4	よくある話や当たり障りのない話で上滑りしないこと
5	官民連携の一員に加わり、春日部を素晴らしい街作りができるということに大きな期待感がある。
6	きめ細やかに対応いただき個々の特性ややる気に合わせて開催して欲しい。事前に課題などいただき効率良く当日は擦り合わせたい。たくさんのオブザーバーの意見を取り入れて欲しい。専門家の講義や現地視察など。
7	他市との相違点やまちづくりの方向性など。
8	参加者の機運が高まっている時点で目に見える成果を出していきたい。
9	地域内外で色々な立場や活動をされている方のお話が伺えることを期待しています。
10	様々な関係者でざっくばらんに情報交換ができると嬉しいです。よろしく願いいたします。
11	あまりどういう感じかわかっていない(多分これから始まるので妥当な)ので、特にありません!
12	情報共有と連携の上手い方法が今回のプラットフォームづくりの中で見いだせればと思います。
13	「春日部駅周辺を良くしていこう」という意識が、参加メンバー全員で共有できることに期待します。
14	多様な声が集まり実現可能なアイデアが生まれること
15	お店の売り上げが上がること
16	ワークショップをすることで、これからの春日部駅周辺のまちづくりを想像できればいいと思います。
17	参加する人の現状、やりたいことや展望があれば知りたいです。(個人的にはまずはそれぞれの人の個性や特徴を知った上で関係を構築していきたいです。)
18	これから検討を進めていくなかで、現状の課題分析や市民の認識等を把握することは大事だと思いますので、まずはそのあたりが分かると良いと思いました。

1. 目的・振り返り・進め方の共有（15分）

2. 自己紹介（15分）

3. ワークショップ①（40分）

「官民連携まちづくり基本方針策定の要素抽出・論点整理」

4. ワークショップ②（40分）

「エリアプラットフォームの運営方法検討」

5. 総括・アンケート（10分）

ワークシート① (個人1枚)	官民連携まちづくり基本方針策定の論点整理 春日部駅周辺の現状と理想のGAPを整理して対応策を考え、次回ワークショップで具体的に何をやるべきかなど重点領域設定に向けての議論へ	所属 _____ 氏名 _____
①現状		
②理想 (ありたい姿)		
①と②のGAP		
対応策		

【目的】

基本方針策定の要素抽出・論点整理

春日部駅周辺の現状と理想のGAPを整理し対応策を考える
⇒次回ワークショップで、具体的に何をやるべきかなど重点領域設定および基本方針策定の議論へ

【進め方】

1. 事前アンケート結果共有 (5分)
2. グループディスカッション (20分)
 - └現状・ありたい姿・ギャップを伝える (1人1分ずつ)
 - └みんなで対応策についてアイデア出し・議論 (約15分)
3. 個人でワークシート①にまとめる (5分)
4. 発表 (10分)

現状

1. 駅前は「滞留する場所ではなく通過する場所」
2. 東西の分断、回遊性が低い駅周辺の繋がりがバラバラ
3. 空き店舗増加、老朽化
4. 夜は閑散として治安不安案内できる場所が少ない
5. 情報共有の仕組み不足、活動が見えにくい

強み

1. 都心アクセス良好（鉄道・道路ネットワーク）
2. 古利根川など自然資源、広い歩道
3. クレヨンしんちゃんという強力なIP
4. 首都圏外郭放水路など観光資源
5. 商店街や団体のつながり、地域プレイヤーの存在
6. 土地にゆとりがあり開発余地あり
7. 市民人口約23万人という規模

課題

1. 駅前に「何もない」印象、滞在・消費機能不足
2. 東西の一体感が弱い、回遊性不足
3. 情報発信・共有の仕組みが弱い
4. 若い世代の参加が少ない
5. 官民・地域プレイヤー間の連携不足
6. 保守的な風土、忖度構造
7. 観光資源の活用不足、案内力の弱さ
8. 会議が形骸化するリスク

ポテンシャル

1. 多世代・多文化交流の居場所づくり
2. 情報共有プラットフォーム（デジタル＋リアル）
3. フラットな関係性、主体性を尊重する協働文化
4. アーバンファーマリングなど農と都市の中間ポジション
5. クレヨンしんちゃん・外郭放水路を核にした観光強化
6. 鉄道高架化・再開発による空間更新
7. 芸術・文化活動のアクセシビリティ向上
8. フィールドワーク型ワークショップで関係構築

今の春日部駅周辺について、あなたが日ごろ感じているイメージや印象を教えてください。

アクセス(都心への交通便利性)	歴史文化(東口の歴史・川・地域資源)	にぎわい(西口や最近の盛り上がり、調和・安心感)	閑散(東口のシャッター・空き家・殺風景)	治安悪化(西口の夜の街化、呼び込み・立ちんぼ)	ブランド活用不足(クレヨンしんちゃん資源が活かされていない、ガッカリ感)
-----------------	--------------------	--------------------------	----------------------	-------------------------	--------------------------------------

1	ロータリーが広く何も無い印象
2	東西の往来が便利になると、周遊する人が多くなると思います。
3	東口は、歴史と文化を感じる面もある。道路は整備されているが民間の土地の時が止まってしまっている。川も近く、じっくり見ると面白さもあるが、住宅地だらけになってしまっているエリアもあり、利便性に欠ける。西口は、チェーン店もありそれなりの商業地ではあるが、どちらかという夜の街になってしまっていて、昼の街としての魅力に欠ける。またイトーヨーカドーがなくなりどこにでもある街並みになってしまったのが残念。
4	保守的、他人事感が強い
5	東口側は殺風景な感じがあり、西口側は飲み屋が多くなり立ちんぼも増えて治安が悪くなった印象です。
6	都心へのアクセスなど交通の便利さは感じるが見どころがアピールされていないせいか、せっかく海外からクレヨンしんちゃんのホームとして来られてもガッカリさせている気がする。他にも歴史や飲食店、イベントなどもっと市をあげてセンス良くセールスすべきだなと感じます。
7	西口に比べ東口は閑散としている。特に東口はシャッターが閉まっている場所が多く、日用品や食品を販売する店がコンビニくらいしか見当たらない。空き家と思われる家屋が散見され寂れた感じがする。
8	東口については学生の登校時間である朝以外は閑散としている。店舗が少ない。
9	春日部駅西口は長年営業されていた飲食店などが次々と閉店し、外国人の方が呼び込みをしている居酒屋が増えているなど、朝や夜の治安が悪くなっている印象がある
10	駅周辺で滞在・消費する場所がない、東西の回遊性が低い
11	帰ってくる場所というイメージがあります。暖かく安心感がある一方で、ここで何かがここで起こるような感覚は薄いかもしれません。
12	最近さらに盛り上がってきている
13	春日部はクレヨンしんちゃん世界的に知られているのに、意外と小さい街なんだな、というイメージ。特に西口を出た時に、駅前が低層の建物ばかりなので。
14	住宅と商業が調和した落ち着いた街
15	街で過ごす方が非常に少ない印象。インバウンドの方が来ても目的は決まっておき、街を楽しんでいる印象が全くない。
16	東口と西口を比べると西口の方が、飲食店が多く、にぎわいがあるように感じる。ただ、活用されていない区域もあるので、もったいないように感じる。
17	滞留する場所ではなく、通過する場所。
18	西口のほうが飲み屋が多い

10年後、春日部駅周辺が"どうなっていたら理想的か"を教えてください

賑わい
(昼夜問わず活気、にぎわう商店街、多世代・多文化交流、フラットな関係)

自然共存
(古利根川、緑、豊かな自然と都市のバランス)

子育て・教育
(子育てしやすい、学びの場、若者が居続ける街、住み続けたい街)

回遊性不足
(東西分断、歩いて楽しくない現状)

魅力不足
(特色ある景観や店舗がない、観光拠点の弱さ)

コミュニティ希薄
(現状では自然な集まりや交流が少ない)

1	人が回遊、滞在できるお店や場所があること
2	鉄道高架が完成し、東西の往来が活発になり、賑わいのある街となってほしいと感じますが、東口の落ち着いた雰囲気を壊さないでほしいとも感じます。また、古利根川などの自然が駅近くで楽しめる街にもなってほしいと思います。
3	景観に特色のある街並み、魅力のあるお店や利便性の高いお店がある。子育てもシニア世代も居心地が良く、来たくなる、住みたくなるエリアにして行きたい。
4	10年後も塾を続けたいと思わせてくれるような、子育てに積極的な街
5	子育てしやすい街作りには若者世代が集まり、自然とコミュニティが生まれ、子供への教育など意識の高い方が春日部に暮らしているのが理想。
6	藤通りをメインに舗道が広く整備されて街のあちこちで小さなほっこりするイベントが平日、土日問わず開催され色々な世代の方が回遊しコミュニケーションがとれる街になっている。日帰りでも東北や南関東からも街に興味を持つ関係人口が増えて魅力を発信している。
7	インフラ、福祉、社会保障の充実は勿論ですが、休日に春日部行ってみたくなる場所になってほしい。観光に傾注するのか、住みよい街に力を入れるのか悩ましいとは思いますが、賑わいのある街になってほしいと考えます。
8	休日でも出向きたくなるような施設・店舗等が溢れている街
9	駅周辺が安全に歩ける街、様々な年代の人が行き交う賑わいのある街
10	子育て世代が集まる街、周辺都市から来街者が多い街(消費の目的地となる街)
11	歩いていて楽しい、若者が居続けたくなる街、子育て世代が集まる街、商店街がにぎわう、観光拠点、という例に書かれたことが全て達成されることが理想であるし、どの方向にも進めるポテンシャルが春日部にはあるように感じています。
12	市街地としての利便性と豊富な自然のバランスが取れた暮らしやすい街
13	「駅周辺に行けば何でもできる」が理想的。保育園・幼稚園、各種商店、学びの場、観光拠点が駅から徒歩圏内に揃っている。
14	緑と賑わいが共存し歩きやすく魅力ある駅前
15	人に誇れる街
16	人が自然と集まるようなにぎわい拠点ができ、昼も夜も人の動きがある活気のある場所
17	春日部市内外を問わず、多世代や国境を越えた、交流する空間や居場所がある、もしくはそれぞれの人たちの楽しみ方ができる居場所がある。
18	観光目的などで春日部に多くの人がかかる街。春日部に住み続けたいと思う街。

理想の街を実現するために"これは欠かせない"と思う要素を教えてください。

- ハード整備** 店舗確保、道路設計、駅前広場/公共空間活用、景観条例、地区計画/街路・公園整備、駐車場の確保
- 交通・回遊** 東西の行き来をスムーズにする道路・駅づくり/交通利便性、ミニバス導入
- 安全・安心** 治安改善、防犯対策/子供と過ごせる環境整備
- 文化・魅力** 芸術・音楽など文化的施設や活動の充実/街を歩くと芸術に出会える環境
- ソフト施策** 地域イベント、健全な飲食環境/市民や事業者が負担なく継続できる仕組み
- ビジョン・ガバナンス** 春日部を形容するビジョンの共有/市の積極性、情報発信機能/本気度(推進力)
- その他** 緑や自然の整備/教育推進、子育て支援

1	店舗確保、道路設計
2	地元の方々の理解や協力が一番かと思います。
3	公共空間活用、景観条例、地区計画、民間再開発、駅前広場
4	市の積極性、春日部の情報を集めて発信する機能、教育推進
5	治安を良くし、安心安全な街作りはもちろんですが、子供と一緒に過ごせる環境を増やしたり整備したい。
6	街路や公園の整備。回遊できるミニバス。文化的な施設が増えている。健全な飲み屋のある横丁。
7	本気度でしょうか。
8	東西の行き来がスムーズとなる道路・駅づくり。魅力のある施設・店舗の設置。
9	安全・防犯、地域イベント
10	交通利便性、地域イベント、ショッピングセンター等
11	子育て世代が集まる場所となるには、市政による教育やその周辺への支援が重要なことは自明ですが、自身には担うことができない部分でもあります。歩いていて楽しい、若者が居続けたい街、商店街が賑わう、という点において、自身の専門性でもあるダンスや音楽などの上演芸術にも担える部分があると思います。ひとつは、街を歩くと芸術に出会えるような環境をつくること。春日部にも芸術活動がないわけではないけれど、多くは予約をしたり、限られた人が体験できる芸術です。多くの人は芸術やエンタメを享受するためにスマホを覗き込むか、(学生ならば習い事や部活をするか)、東京に出ていきます。春日部で芸術を享受したり、発信・表現することのアクセシビリティを上げ、市民が自らまちなかで表現し受け取り合うことのできる環境をつくる必要があります。自身の役割としては、新しい建築や道路をつくること以上に、市内の「場所はあるが使われてきていないスペース」に芸術を持ち込み、アクセス可能な場所として変容させていくことが重要だと考えています。市民が自身で何かをつくり出し、若者を含めたすべての人がまちを味わい、まちなかに還元していくような環境を目指して、文化水準を上げていくようなことが重要だと考えています。
12	交通の利便性と自然の整備
13	駐車場。どんなに便利であっても、特に市民(家族連れ)は公共交通機関で来ないことが多いと思われるので、駅近くに大規模な駐車場があれば「行こう!」という気になれる。
14	地域の魅力を生かし住む人が誇れる街づくり
15	春日部を形容するビジョンの共有
16	市民や事業者などが負担なく継続的に取り組むことができるイベント
17	密なコミュニケーション。許容できること。それぞれが楽しむこと。
18	観光名所の創出。子育てしやすい環境

春日部駅周辺の「強み」は何だと思いますか？

<p>交通・立地 都心から近くアクセス良好/東西南北のネットワークが交わる拠点</p>	<p>空間・環境 ゆったりした雰囲気、歩道が広い/川や自然が徒歩圏内にある/土地にゆとりがあり開発余地がある</p>	<p>商業・施設 西口：ララガーデン、ふれあいキューブなど商業集積/東口：歴史・文化資源</p>	<p>コミュニティ・人材 商店街や団体のつながり/プレイヤーが多い</p>	<p>ブランド資源 クレヨンしんちゃんという強力なIP</p>	<p>将来性 鉄道高架化・再開発がこれから/市民や事業者の意見を反映できるタイミング</p>
--	---	---	--	--	---

1	商店街や団体など人の繋がりはあると思います
2	都心からさほど遠くなく、不便でもなく、それなりになんでも揃う、そして、ごみごみせず、ゆったりとした雰囲気のまち
3	東口は歩道が広い事、川が近い事、歴史がある事。西口はララガーデンやふれあいキューブといった商業集積があること。ほぼ碁盤の目なので道がわかりやすい
4	プレイヤーが多いこと
5	東側は歴史と文化に触れ、西側は未来の発展を強調できるのが強みだと思う。
6	東口と西口で雰囲気が違うところ。別の顔を見せられる。新たな駅降り口ができるようなのでこちらも個性を際立たせるのが強みになると思う。
7	都心へのアクセス、駅前のスペース(何もなくてさみしいですが。)
8	近隣(さいたま市・越谷市・草加市)と比較して土地にゆとりがあり開発の余地がある。
9	通勤・通学で利用する人の量が一定数いること。
10	立地、特徴的なIP(クレヨンしんちゃん)、
11	都心等に比べれば、ある程度の幅の歩道があること。観光面ではクレヨンしんちゃんが強力。
12	徒歩圏内に中心市街地と自然があること
13	交通の便が良いところ。鉄道(伊勢崎線・野田線)、道路(R4・R16)がそれぞれ東西南北のネットワークを形成し、それらが交わる拠点であること。
14	交通利便性と生活施設が充実し住みやすい点
15	ない
16	鉄道が高架化することや再開発などがこれからであるため、理想の街に向けて市民や事業者の意見を反映できる
17	これから構築していけること。
18	クレヨンしんちゃんのおかげで知名度は高い。首都圏外郭放水路の見学に来る人も一定数いる。

春日部駅周辺の現状で、課題だと思えることは何ですか？

空間・機能面① 駅前に「何もない」印象、滞在・消費できる場所が少ない/東西の分断、回遊性の低さ/駅前が通路機能中心でイベントや交流の場がない

空間・機能面② 大型商業施設や目立つ店舗が不足、イトーヨーカドー撤退/空き店舗増加、老朽化/駐車場の景観や魅力を損なう/案内場所が少ない

情報・コミュニティ 春日部の魅力が市民に伝わっていない/情報発信・共有の仕組み不足/旗振り役となるリーダー不在/駅周辺の繋がりが不足

安全・秩序 夜は閑散として怖い、治安懸念(酒提供の場が増えると子育て環境に影響)

交通・インフラ 開かずの踏切によるストレス/車道中心の道路設計で歩行者空間が弱い

その他 クリエイティビティ不足/人と自然のバランス課題

- 1 地元店舗はあるのに、見えづらく、何もないと思われるところ。
- 2 市民自体が春日部の魅力に気づいていない点が挙げられるかと思えます。
- 3 人の流れを意識したエリア全体の設計がされていない。たとえ過去にしている、更新がされていない。乗降数のわりに、利便性を高めてくれるような大手が出店出来る場所がない。
- 4 春日部の人に情報を伝達する方法が乏しいこと、旗を振って先頭を走るリーダーがいないこと
- 5 空き店舗が増え過疎化してる状況をどう打開するか?酒を提供するのは悪いものではないが、赤羽みみたいな駅前になると治安の問題で子育て環境は難しくなる
- 6 再開発エリアなので閑散として夜は怖い。やはり開かずの踏切はイライラしてしまう。とりあえずのパーキングが多くてつまらない。
- 7 近隣の駅前に比べて(越谷、草加等)大型商業施設も商店街もないことから、駅前で買い物ができない。
- 8 ひとが集まる・滞在する施設、場所が少ない。
- 9 いままで西口と東口が分断されていたので、駅周辺を中心に新たな交流や賑わい、人の導線を生み出していく必要があること
- 10 駅周辺で滞在・消費する場所がない、東西の回遊性が低い
- 11 高架の問題は置いておくとして、車道中心の道路は課題ですね。駅前で、何かが起こりにくい、ただただ通路としての機能の強い駅前のイメージがあります。パフォーマンスなり、マルシェなり、何かを行うアクセシビリティが弱い。
- 12 活動している人の情報共有と連携、人と自然(動植物)環境のバランス
- 13 駅を出た瞬間の第一印象が「特に何もない」印象であること。大きな集客が見込める施設が駅から何も見えない。イトーヨーカドーも撤退してしまいましたし。
- 14 駅前の活気不足と老朽化、回遊性の弱さが課題
- 15 クリエイティビティ
- 16 東西の一体感が弱く、回遊しにくい点
- 17 駅周辺の繋がりがバラバラなこと。
- 18 友人を春日部に呼ぼうと思っても、案内できる場所があまりない。

春日部駅周辺のまちづくりにおいて「ポテンシャル」は何だと思えますか？

自然・空間資源 古利根川や川沿いの階段・ベンチ、広々とした道路、ゆったりした街並み/徒歩圏内に自然と市街地が共存/アーバンファーム

交通・立地 都心・大宮・千葉からのアクセス良好/国道4号線・16号線、鉄道ネットワークによる広域連携

ブランド・観光資源 クレヨンしんちゃん、首都圏外郭放水路、旧日光街道、和菓子、音楽イベント

人・コミュニティ 個性豊かな人材、まちづくりに関心ある多世代/市民人口約23万人という規模

経済・開発余地 土地のゆとり、再開発・鉄道高架による更新/企業誘致(物流拠点、子育て世帯優遇)

交流・回遊 目的来訪者の意図を活かした回遊促進/関係人口増加の余地

1	川沿いの階段や歩道のベンチなど、使えるポイントはある
2	古利根川などの自然や広々とした道路など、ゆったりとした街並み
3	企業誘致、まちの中のプレーヤーの活躍できる使いやすい場所を作る
4	個性豊かな人がたくさん集まっていること
5	都心部や千葉・大宮からのアクセスにより拠点化すれば良い観光資源にもなる。目的来訪者の意図を最大限利用し今後の街作りを行えば、回遊を促進しやすいという点が春日部のポテンシャルだと感じる。
6	クレヨンしんちゃん、首都圏外郭放水路、地元商店街、音楽イベント、旧日光街道、和菓子
7	駅前の開発については地権等あって難しいと思いますが、道路や交通網を整備して移動しやすい環境づくりも重要ではないでしょうか。
8	国道4号線・16号線が縦横に巡っている立地を活かし物流拠点に着目した企業誘致。都内まで1時間圏内の立地を活かし、子育て世帯への優遇措置による若者世帯の誘致。
9	子育て世代が増えている点、通勤や通学など日頃駅を利用している人の層
10	都心エリアからの距離、交通網、特徴的なIP(クレヨンしんちゃん)、
11	観光資源はクレヨンしんちゃんのおかげで豊富ですね。東京からの距離も、大きなポテンシャルだと思います。
12	まちづくりに関心を持っている方が多世代にわたっていること
13	市民が約23万人いること。多くの自治体は人がいなくて困っている中で、これだけ多くの人が住んでいるので、春日部市民の多さが最も大きなポテンシャルだと思っている。
14	商業再生と観光資源活用で魅力向上できる点
15	しんちゃん 歴史的資源
16	クレヨンしんちゃんというキャラクターの活用、鉄道高架や再開発による施設の更新
17	(都会と田舎の)ちょうどいい距離感。農でいえば都会でのアーバンファームと田舎での畑と間のポジション。
18	クレヨンしんちゃん、首都圏外郭放水路

1. 目的・振り返り・進め方の共有（15分）

2. 自己紹介（15分）

3. ワークショップ①（40分）

「官民連携まちづくり基本方針策定の要素抽出・論点整理」

4. ワークショップ②（40分）

「エリアプラットフォームの運営方法検討」

5. 総括・アンケート（10分）

ワークシート②
(グループ1枚)

エリアプラットフォームの運営方法検討
現状のまちづくり活動における運営課題などを踏まえて、理想像に向けたアイデアを抽出。例えば「場づくり・必要な役割/機能・意思決定方法・持続可能な仕組みづくり・共創を生み出す仕組み」などの要素を踏まえて基本方針策定へ。

所属 _____
氏名 _____

①現状課題

②理想像

③アイデア

【目的】

エリアプラットフォームの運営方法検討

現状のまちづくり活動における運営課題などを踏まえて、理想像に向けたアイデアを抽出

⇒「場づくり・必要な役割/機能・意思決定方法・持続可能な仕組みづくり・共創を生み出す仕組み」などの要素を踏まえて基本方針策定へ

【進め方】

1. 事前アンケート要点共有 (5分)

2. グループディスカッション (25分)

└ 運営に関する現状課題と理想像 ⇒ アイデア

└ 書記役: グループでA4用紙にまとめる

3. 発表 (10分 = 2分 × 5グループ)

└ 発表者: グループから1名が発表

春日部でのまちづくり活動において、ここが課題と感じた点

<p>連携不足 地元商店街が動かない、地域プレイヤー同士の協力が弱い/官民の垣根が高く、住民と行政の連携不足</p>	<p>情報発信・共有 SNSや総合的な情報発信が弱い/関係者間の情報共有・意見募集がスムーズでない/情報共有プラットフォーム不足</p>	<p>人材・世代課題 若い世代の参加が少ない/市民が受け身で巻き込みが難しい/旗振り役(リーダー)が不在</p>	<p>組織・体制 個人はいるが組織化が苦手、持続可能な体制が未整備/地元企業が大きくなりすぎて地域との接点が希薄</p>	<p>文化・風土 古い体質の商店街、保守的な行政、忖度構造/意見集約が難しい(強い個人の存在)</p>	<p>計画・ビジョン 高架化・駅づくりの具体像が見えない</p>
---	---	---	---	--	---

1	地元商店街と連携ができない(動かない)
2	情報共有は大切だと思います。関心のある方はまちづくりについてもよく知っていますが、春日部に関心のある方が若い世代に少ないかもしれません。
3	まちづくりに興味のある個人はいても組織化は苦手で持続可能な体制にまだしようという人が少ない点。地元企業は大きくなり過ぎて春日部と接点が少ないイメージ。
4	各プレイヤーが協力せず、お互いにいがみ合っていること。地域として力を合わせられないこと
5	今はまだプラットホームを作る段階の為、問題点としては特に感じない。
6	SNSでの総合的な情報発信、古い体質の商店街、声の大きい地主的な方、保守的な行政、発信力の無い市長や議員、一部建設業者にはびこる忖度
7	ご自分の意見を強くお持ちの方がいて、考え方の集約は大変難しいと思いますが、コミュニケーションをとりながら、ある程度の方向性を決めたいです。
8	高架化・駅づくりの具体的な画が見えてこない。
9	関係者の連携・情報共有
10	当社に限っては、地域関係者との関係性が希薄になってしまっている現状。
11	自身のまちづくり活動については、基本的に多くの市民は受け身なので、どのように巻き込んでいくかのプランニングをうまくやることだなと思っています。春日部市の最近の活動についても、同じことが言えるかもしれません。官民の官が関わる時に、どれだけ民との垣根を越えて心地の良い関係をつくれるかが重要だと思います。
12	関係者間、関心を持っている人への情報共有、意見募集がよりスムーズに進められればと思います。
13	今のところは特にありません。
14	住民と行政の連携不足で意見反映が弱い点
15	人がいない 情報共有のしくみ
16	若い世代の参加が少なく感じる
17	各々が各々で活動していて、結果よくわからない。情報共有できるプラットフォームのようなものがあると潤滑になるような気も。
18	まちづくり活動自体に参加したことがありません。

あなたが考える理想的な"官民連携まちづくり"の姿を、自由に教えてください

ビジョン共有 官民が同じ夢・ビジョンを描き、役割分担しながら進む/他都市の成功事例を参考に、春日部に合った形で共に検討	柔軟性と創造性 民間の自由で柔軟な発想をハード整備やイベントに活かす/過去の前例に縛られず、失敗を許容する風土	協働と信頼 情報共有を徹底し、責任感と信頼関係を醸成/官民双方が楽しみながら進める/楽しみながら、フィールドワーク型会議	公平な場づくり 声の大きい人に偏らず、誰もが対等に発言できる体制/会議体に縛られないオープンな意見交換/忖度なし	市民主体 住民の考えを尊重し、行政は現実的な助言・調整役/民間が稼げる事業を営み、行政は制度や補助で支援	持続可能性 官民・企業・住民が協働し、日常を豊かにする取り組み/イベント頼みではなく、日常の価値を高める
--	--	---	---	---	---

1	民間の自由で柔軟な発想を、道や公園などのハードづくりに活かしてもらえる形。民間のイベントや仕掛けも市の取り組みと同じように位置付け連携、広げてもらえること
2	互いに情報を共有し、どのような状況になっているのかを知ることで、お互いの責任感、信頼関係が生まれてくると感じます。
3	それぞれの立場の得意な部分を持ち寄って、一緒に同じビジョン、同じ夢を見る事。縦割り行政をなんとか打開して欲しい。
4	積極的な官と、それに応える民、全体の活動自体が市民から注目されている姿
5	他都市の街作りで成功した事例と一緒に精査しながら、春日部に落とし込み、それを行うとどのような変化が生まれ、また問題はどのようなことか?と一緒に考えることが理想的。(民間の意見をただ聞いて、単純に官が精査するものではなく、意見を出しあう姿勢が必要)
6	誰にも忖度なく純粋に街を変えて未来に繋げる人たちの集合体。他地域の良さを知り、認めて春日部に取り込むあきらめない意思
7	街づくりは基本的には住んでいる人の考えが重要です。行政(官)は、現実的な面から助言やフォローしていただき、理想を実現していくことではないでしょうか
8	会議体等に縛られずに誰もが自由に意見を発言できる体制。また過去の前例・踏襲に囚われずに前向きなアイデアは積極的に採用する姿勢、失敗を許せる風土
9	地域内事業者と行政、及び地域外事業者がそれぞれのリソースやできること、役割を補完しながら進めていくまちづくり
10	両者が主体的に、民間は地域で稼げる・魅力のある事業を営み街の価値を上げ、行政は補助金や制度でバックアップをしあう関係性
11	官民双方が楽しんで進んでいくのがいいですね。
12	民間がある程度自由に活動できる場づくりと調整を官がサポートして行ければよいと思います。
13	どのような組織でも同じだと思いますが、声の大きい人や発言回数が多い人に引っ張られない、誰もが対等に発言できる体制づくりだと思います。
14	住民・企業・行政が協働し未来を共に描く街づくり
15	イベント事に頼りすぎず、日常が豊かになるような取り組み
16	民間と行政などが同じビジョンを共有して、役割分担をしながら一緒に進む姿
17	フラットな関係。各々が主体性を持って、楽しみながら、連携しつつ関係性を築いていくこと。
18	春日部市民が理想とする街、春日部市民にとって良い街、他の地域から春日部に行ってみよう・住んでみよと思う街を官民が連携して作り上げていく。

官民連携まちづくり会議意見交換について、どのくらいの頻度・形式で取り組む必要性

目的重視「何を実現するか」目的ありきで設定することが重要/形骸化するくらいならやらない方がよい

頻度の目安 全体会議: 月1回が最多意見(隔月や四半期に1回という声もあり)

主要メンバー・担当レベル: 月1回~2週間に1回程度/具体化フェーズでは週1~2回も

オンライン情報共有: 月1回+随時 (Slack/Teams/Discordなど)

形式 対面+オンラインのハイブリッド/ワークショップ形式で意見交換/SNSやオンラインで自由な意見発信・プロセス可視化/公開型会議(年数回)で市民参加を促す

1	その時に何を実現するのか、目的ありきの設定がベストです。
2	月1回くらいであると参加しやすいかと思えます。また、一部の限られた人たちの集まりという雰囲気では、逆に反感を抱く方も出てしまう気がします。
3	何をやるか次第でだいぶ変わると思いますが、全員でどうこうするのは月に一度が限界なのではないでしょうか。
4	形骸化するくらいならやらない、時期やメンバーのモチベーションで変動してもいい
5	今の段階では月1~2回程度でも良いが、内容によっては1週間に1~2回になっても良いと思う。
6	リモートでもよいので月に1回は顔を合わせてやりとりしたい
7	大まかな意見がまとまり、具体的になってきたら当然回数は多くなる考えます。
8	四半期に1度程度で日中の時間帯での開催を希望します。
9	隔月1回や月1回など定期的に集まってワークショップなどの形式で話し合う時間を設定する必要があると思う
10	主要メンバーは2週間に1回、意見交換は1か月に1回程度
11	月1回くらいはオンラインでも情報共有はあったほうがいいですね。あとはDiscordなり何なりで各部署が何しているか見える形式をつくるのも必要ですね。
12	対面は2か月に1回くらい? SNSなど使った自由な意見交換の場は頻度を上げてプロセスを可視化できた方がよいかと思えます。
13	集まる場は当然必要なんですけど、TeamsやSlackなどのオンラインツールを使って、その人が動きやすい日や時間帯に意見などを発出できる仕組みが欲しいです。それがあれば、対面での会議や意見交換は3ヶ月に1度くらいで良いのではないかと思います。
14	定期的な対話、年数回程度の公開型会議が理想
15	日常業務に差し支えない程度
16	全体の会議は、2カ月に1回。担当レベルで月1回程度。
17	月に1.2回程度は必要。ただの会議なのか、フィールドワークしながらの形式や交流等の方が自然体に、物事を具体的に進めつつ身体的な感覚からもアプローチできる気がします。
18	内容や状況次第ではありますが、月1程度であれば対面参加は可能かと思えます。

右記QRコードより、
アンケート回答のご協力をお願いします
※本日の回答が難しい場合、12月10日(水)まで



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です